

村岡地区 市長と語る会 議事要旨

日時	令和6年5月27日（月）午後7時00分～午後8時45分
場所	村岡まちづくり会館
出席者	70名

Q：質問 A：回答

1. 恐竜モニュメントについて

Q：市内に恐竜モニュメントがあるが、大渡の恐竜の塗装が剥げて地肌が出てしまっている。塗り直してはどうか。また、モニュメントに何の恐竜かネームプレートを置くと、新しい知識の獲得につながると思う。これは要望なので回答は要らない。

A：他にも色が剥けている恐竜モニュメントがあり、福井県にも色の塗り直しの提案はしているが、まだ着手されていない。先日県の担当課にも急ぎ申入れを行ったところで、市で管理している小さな恐竜についても確認をしていきたいと思う。

2. 長尾山の渋滞対策について (1)

Q：長尾山の渋滞が長い。長尾山公園への進入路は1本しかないが、今後どのように考えているか。

A：村岡の方々には渋滞で大変ご迷惑をおかけしている。恐竜博物館が予約制になったとはいえ、今年のGWでも渋滞が発生している。進入路が一本しかないことは課題にはなっているが、今のところ、パーク＆ライドの強化で対応したいと考えている。

3. 長尾山の渋滞対策について (2)

Q：恐竜博物館への道の渋滞について、シャトルバスを運行しているが、五本寺から入れるようにしてはどうか。また、農協会館から五本寺へ上がる道を少し拡張して整備すると、シャトルバス専用の通行進路として利用できるのではないか。

A：いろいろな方法を考える中で参考にさせていただきたい。

4. 災害拠点としてのまちづくり会館について

Q：災害拠点としてまちづくり会館を使用するとのことだが、具体的にはどのように考えているか。昔、村岡公民館の主事であったとのことだが、まちづくり会館と市との連携はどのように考えているか。

A：まちづくり会館の職員の他に地域担当職員を各地区に配置しており、地域の会議等に同席させていただいたり、避難所等で一緒に活動するというバックアップ体制をとっている。災害時には市役所に全職員を集めるのではなく、まず各担当地域の拠点に集めて、区長方と連携する方法について検討している。また、庁内の固定電話を全て廃止し、スマートフォンを公用電話として対応している。そうした情報機器を活用し、連絡を密にすることをしていきたい。

私が公民館主事をしていた時は、社会教育をメインに仕事としていた。その経験から各地区での社会教育の在り方について見直しが必要だと感じた。地区に職員を配置するのであれば、社会教育以外の地域づくりや福祉、防災といった分野でまちづくり会館を活用したい。場合によっては、野向や北谷のように指定管理を入れながらコミュニティセンターとして、物を作ったり売ったりといったことにも挑戦できる。社会教育に限らず、様々なことがまちづくり会館でできるということをお伝えしたい。

5. ジオパークの再認定について

Q：むろこ女性の会ではジオパークの学習に力を入れてきた。ジオパークを通して勝山の魅力を沢山学ぶことができた。昨年、日本ジオパークの再認定審査がイエローカードになりショックを受けたが、来年、再認定目指して頑張っていたきたい。

A：勝山市がジオパークに取り組んで15年が経過した。大地の上に地層や植生があり、生き物が暮らし文化や産業がある、というジオパークの考え方は素晴らしいと思う。しかし、今、日本ジオパークの再認定を取りに行くことは、協議会の中で悩んでいる。ジオパークの担当者は再認定を取りに行くのが仕事で、それに縛られる。今回受けた中で、改善が不可能な事項の指摘があり、そういった意味で再認定を取りに行くことはお約束できない。これまでの学習や防災への取組みは継続したい。全国の自治体と情報交換しながら検討していきたい。

6. まちづくり会館と刀清水公園ゲートボール場の改修について

Q：まちづくり会館のホールの床の改修をお願いしたい。刀清水公園のゲートボール場も改修してほしい。高齢者の交流や健康づくりのため、できたらにこここ交付金ではなく、市の予算をつけていただきたい

A：数年間に村岡まちづくり会館の大改修をした際には、ホール改修の要望は出てこなかった。ホールの状況について確認して、一度検討させていただきたい。ゲートボール場についても同じく検討させていただきたい。

7. 森づくり交付金について

Q：豪雨関連で林道が被害を受け、森づくり交付金をいただき感謝している。この交付金は幅広く使えるとお聞きした。林道の草刈などの整備等を外部に委託する委託費に交付金を使用できればと思っているが、金額のルールを示してほしい。

A：森づくり交付金は、森林環境譲与税を活用している。森林のために自由な活動をしてほしいという趣旨でスタートしている。柔軟に積極的に活用していただければ良い。現在、Jクレジット制度の活用や自伐型林業に対する支援も厚くし、森林が循環できるような仕組みを目指していきたい。

8. 林道・作業道の管理について

Q：大野市は林道はすべて市が管理している。勝山市は愛護組合が管理している。今のところ作業道は支援の対象としてもらえていないので、一度確認して支援をお願いしたい。

A：作業道を林道への格上げについて、お気持ちはよく分かるが現実には難しい。それぞれの区分けや現状をみて個別にご相談させていただきたい。

9. にこここ地域づくり交付金について

Q：先ほど、市長の話のなかでまちづくり会館で物を作ったり売ったりを想定したことを言っていたが、にこここ交付金の意図として、10年後に自分たちで経営をやっていくということか。

A：地区で収益を上げる事業をしたいのであれば、北谷や野向のように指定管理を受けて、民間ベースの方が良いが、全ての地区にそれを目指してほしいとは思っていない。ここが地域コミュニティの拠点として、今の形がよければそのまま継続していく。にこここ交付金は10年で使っても1年で使っても良い。自由に積極的な活用について取り組んでいただきたい。

10. 山口茜選手のPRについて

Q：山口茜選手が3回目のオリンピックを迎える。恐竜を目的に多くの方が来ているので、インターに看板を設置するなど、山口選手のPRのために何かできないか。

A：山口茜選手の激励会を6月に開催予定である。またオリンピックの際は、試合のパブリックビューができるよう準備している。PRについては、山口選手の希望も聞きながら、市民と一緒に考えて行きたいと思う。

11. 現中学校の跡地利用について

Q：新中学校に3中学校が統合すると、それぞれのグラウンドや体育館は残るのか。災害時は避難所として必要になってくると思うが、取り壊し等を計画されているのであれば不安に思う。

A：中学校の跡地利用については、庁内でも議論をしている。全て更地にすることは難しいと考えている。公共施設として転用していく予定はない。地権者の方のこともあるので詳細は避けたいが、利活用や取り壊しなど、今後皆さんとも相談しながら検討していきたい。

12. 長尾山の開発と景観条例について

Q：長尾山開発等で発展が期待できるが、現在景観条例で様々な規制されている中で、今後どのように考えているか。

A：景観条例については、できるだけ景観の維持をしたいが、社会の状況に応じて変更が必要だと考えている。

13. 大学の開校について

Q：大学ができることで学生が増えると治安の面でも心配である。

A：学生が来るからというわけではないが、今のような安全安心なまちを作っていくために、新たなファクターにもしっかりと対応していきたい。

14. 災害復旧について

Q：今日、農林課の職員と農地等を見て回ったが、まだ、災害の爪痕が残っている。その辺の復旧もお願いしたい。

A：災害復旧については、市道や河川、農地など優先順位をつけて工事の発注を行っている。林道については遅れているが、今年は林道の予算をつけて実施している。

15. ふれあいサロンでの防災講座について

Q：自主防災組織を結成し、7月にふれあいサロンを開き総務課に講演をお願いした。これについて暮見地区にあった内容をお願いしたい。

A：暮見のサロンには小規模多機能自治のあり方などを研究して説明に行くように話をしたい。

16. プラスチック資源ごみの回収について

Q：今年度からプラスチック資源ゴミを分別することとなったが、中には分別せずにステーションに残されたままのごみ袋もある。出し方が分からないのではないか。イラストより写真で示した方が分かりやすいと思う。再度周知をお願いしたい。

A：再度分かりやすい説明資料で対応できるよう考えたい。

17. 農村留学について

Q：人口減対策として移住施策、Uターン施策や空き家の活用をするとのことであったが、自然豊かな市であることから農村留学をしてはどうか。

A：農村留学や山村留学を積極的に取り組んでいる自治体もあるが、受入れにはかなり覚悟が必要だと思う。本日も提案があったことは持ち帰りたい。

18. こども会館について

Q：こども会館は駐車場が少ないが、どのように解消するのか。

A：こども会館の駐車場についてはまだ何も決まっていない。中央公園を整備する中で考えていきたい。

18. まちづくり会館の活用について

Q：まちづくり会館の活用について、今後高齢者世帯が増えることを見越して、配食サービスをするのに調理スペースを広く活動しやすくしてほしい。

A：調理場が不足する状況になれば相談したい。ホールのこと合わせて、活用に必要なことであれば積極的にやっていきたいと思っている。

19. 敬老会について

Q：今年、5年ぶりに敬老会を行うので、是非来ていただきたい。

A：ご案内いただいている。楽しみにしている。